

パークカフェプロジェクト café au café



多様な居場所づくりのコンテンツ



DATA

● 主な連携先・メンバー

吹田市花とみどりの情報センター

● 活動地域

吹田市千里南公園、千里ニュータウン

● 活動資金

実験実習教育費

活動の目的

- 1 | まちびらきから50年経過した千里ニュータウンにおける今後の在り方を考える
- 2 | パークマネージメントを提案し、住民が自主的に活動のできる公園を目指す



連携にいたる経緯

吹田市のパークカフェ事業に先駆けて、2016年9月に、吹田市の公園利用者に向けたアンケート調査と共に、社会実験として振る舞いコーヒーを行いながらのヒアリング調査をしたことに始まる。その後、吹田市のパークカフェアイデアコンペでの最優秀賞をいただいたことから、吹田市花とみどりの情報センターと、提案したパークマネージメントの実施を行うことになった。



活動内容

吹田市花とみどりの情報センターとの共同研究として、コーヒースタンド「café au café」を千里南公園で月に2回営業することにより、「場を変える実験」を実施。フリースツールを置き、公園利用者が自ら居場所をつくることのできるようにする。また、本棚を置いて、居場所づくりの支援をする。このように、様々なコンテンツを挿入することで、公園に多様な風景を生み出している。

また、コーヒースタンドを営業しながら、動画撮影やヒアリングを行い、千里南公園の利用実態調査もしている。まちの人々が日常的にどのように公園を使っているのか、この公園の魅力は何だと考えているのかを調べ、これからの千里ニュータウン内の公園の在り方を考えていく。



活動の成果

- 1 | 公園の新しい活動として、地域の活動グループによる、住民参加のマルシェを企画し、実施
- 2 | 公園に、住民が実感できる形で新しい空間を提案した
- 3 | 学生のコミュニケーション能力の向上

今後の課題・目標

- 1 | 研究室活動としての継続性
- 2 | 吹田市公園みどり室との連携
- 3 | 吹田市におけるパークマネージメントに向けた活動へ

● 教員紹介



環境都市工学部 教授 岡 絵理子(おか えりこ)

都市計画と住宅を専門としている。学生たちには実際にまちに出て、様々な人々との関わりの中から、豊かな生活空間を感じて欲しいと思っており、実際このような活動の社会的意味を考えながら、内発的に動き、みんな大いに成長してくれている。